

令和5年度ひろしまサンドボックス実装支援事業の実施について

1 要旨

デジタル技術を活用したコストパフォーマンスの高いソリューションにより、行政・地域の課題解決を図るため、市町における公共調達に特化した実装を支援することとし、優れた商品・サービスを提供するスタートアップ企業等とのマッチング及び協業支援を実施する。

2 経緯

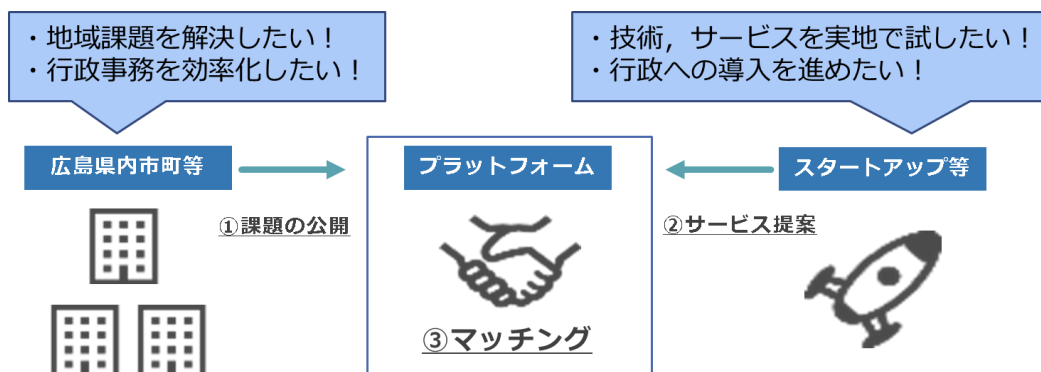
- 昨年度は、これまでひろしまサンドボックスで開発・実証された商品・サービスのうち、20件のソリューションについて、デジタル田園都市国家構想推進交付金等を活用した全額国庫負担により、県内の41社・機関へ導入支援した。
- このうち、空き家のVR内覧システムや衛星データによる耕作放棄地の検出システムなど、公共のサービス向上や業務効率化の県内全域展開が期待できる事例が創出された。

3 事業概要

4～5月にかけて、市町へのオンライン説明会や訪問協議を進めたところ、これまでに15市町から参加意向の回答があった。

区分	内容
参加市町	広島市、呉市、竹原市、三原市、尾道市、福山市、府中市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、熊野町、坂町、北広島町、大崎上島町
テーマ	各市町から提出される行政・地域課題
対象者	広島県内外のスタートアップ企業、中小企業等（大企業を除く）
採択件数	30件程度（一市町あたり1～3件程度）
支援内容	・行政・地域課題とソリューションのマッチング ・試験導入のための活動支援金（1,000千円/件） ・市町間の情報共有の機会創出
予算額	60,000千円（1/2国庫負担。デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用）

【事業スキーム】



4 スケジュール

8月14日	専用サイトによる市町の課題公表及びスタートアップ企業等の募集開始
9～11月	実証・導入計画の策定
11月下旬	マッチング決定
12～3月	実証による導入検証
3月中旬	市町間での成果の情報交換会